

千葉丸がサンマ漁場調査に出港しました

当センターで運行している漁業調査船千葉丸が、去る8月23日にサンマ漁場調査に出港しました。千葉丸は、今年の1月27日に竣工したため、今回のサンマ漁場調査が初めての長期航海を伴う試験調査になります。

本船は、省エネルギー化を目的として、棒受網でサンマ漁場調査を行う公的機関の漁業調査船としては、初めて当初から全面的にLED集魚灯を採用した船であり、業界の注目を浴びています。出港式が行われた千倉漁港には、乗組員の家族や漁業関係者の方々が多数集まり、航海の安全と調査の成功を願いながら、千葉丸の出港を見送りました。

千葉丸は今後、サンマの漁場となる海の状況、魚群の量や魚体の大きさなど漁況情報を収集し、迅速に千葉県漁業者に提供していきます。

